

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	ブライダル知識ⅠA		
必修選択	必修	(学則表記)	ブライダル知識ⅠA		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ウェディングプランナー科	1	15
使用教材	ブライダルコーディネーターテキストスタンダード		出版社	公益社団法人日本ブライダル文化振興協会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	現場での実践に活かせるブライダルの基礎知識・用語・業界特性を理解・習得する。				
到達目標	ブライダルコーディネート技能検定 3 級合格を目指す。 ブライダルの基礎知識、用語を理解し使いこなせるようになる。				
評価基準	テスト：60％ 小テスト：20％ 授業態度：20％				
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者				
関連資格	ブライダルコーディネート技能検定 3 級				
関連科目	ブライダル知識ⅠB・ブライダル知識ⅡAB オリジナルプランニング AB				
備考	原則、この科目はオンデマンドにて実施する。				
担当教員	長谷 和代		実務経験	○	
実務内容	ウェディング会場勤務 10 年、結婚相談所経営 10 年				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション	ブライダルコーディネート技能検定について理解する ブライダルコーディネーターの定義を理解する
2	結婚の定義	結婚の法的意義、婚姻の要件について理解する
3	結婚の定義	結婚に関する言葉とその定義、結婚の類語を知る
4	日本の結婚式 歴史と文化	日本の結婚の歴史について学ぶ
5	日本の結婚式 歴史と文化	日本の結婚の歴史について学ぶ

6	日本の結婚式 歴史と文化	日本の結婚の歴史について学ぶ 宗教と結婚式について知る
7	日本の結婚式 歴史と文化	結婚に関する風習・いわれについて学ぶ
8	欧米の結婚式 歴史と文化	欧米の結婚式の歴史について知る
9	欧米の結婚式 歴史と文化	欧米の結婚式の歴史について知る
10	欧米の結婚式 歴史と文化	欧米の結婚式について知る
11	欧米の結婚式 歴史と文化	欧米の結婚式について知る
12	ブライダルビジネス ブライダル市場	ブライダル市場規模、市場規模の推移について把握する
13	ブライダル業種	ブライダル関連業種について理解する
14	テスト	前期内容のテストを実施する
15	総合	テストの振り返りとまとめを行う

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	ブライダル知識ⅠB		
必修選択	必修	(学則表記)	ブライダル知識ⅠB		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ウェディングプランナー科	1	15
使用教材	ブライダルコーディネーターテキストスタンダード		出版社	公益社団法人日本ブライダル文化振興協会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	現場での実践に活かせるブライダルの基礎知識・用語・業界特性を理解・習得する。				
到達目標	ブライダルコーディネート技能検定 3 級合格を目指す。 ブライダルの基礎知識、用語を理解し使いこなせるようになる。				
評価基準	テスト：60％ 小テスト：20％ 授業態度：20％				
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者				
関連資格	ブライダルコーディネート技能検定 3 級				
関連科目	ブライダル知識ⅠA・ブライダル知識ⅡAB ホテルプランニング AB・オリジナルプランニング AB・ブライダルプランニング AB				
備考	原則、この科目はオンデマンドにて実施する。				
担当教員	長谷 和代		実務経験	○	
実務内容	ウェディング会場勤務 10 年、結婚相談所経営 10 年				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	前期 I A 振り返り ブライダル関連業種	前期で学んだ I A の内容の振り返り ブライダル関連業種について理解する
2	エリア特性 ブライダル業界の 1 年	結婚における地域特有の風習について学ぶ ブライダル業界の 1 年の流れと集客システムについて理解する
3	見合いと婚約	見合い、婚約、婚約記念品について学ぶ
4	見合いと婚約	見合い、婚約、婚約記念品について学ぶ
5	結納・婚約式	結納について学ぶ

6	結納・婚約式	結納について学ぶ 婚約式、婚約披露パーティー、両家顔合わせについて学ぶ
7	ブライダル準備 キリスト教式	結婚までのスケジュールを理解する キリスト教式（カトリックとプロテスタント）について学ぶ
8	神前式	神前式の歴史と現状について知る 神前式式次第①
9	神前式	神前式式次第②
10	仏前式 挙式スタイル小テスト	仏前式の歴史と現状、仏前式式次第について知る キリスト教式・神前式・仏前式の挙式スタイルについての小テスト
11	人前式・シビルマリッジ	人前式、シビルマリッジの式次第について学ぶ
12	披露宴	披露宴のスタイル、披露宴の時間帯について学ぶ
13	披露宴の演出プラン	披露宴の進行について理解する
14	後期テスト	後期内容のテスト実施
15	総合授業	テストの振り返りとまとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ブライダルビジネスマナー		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルビジネスマナー		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ウェディングプランナー科	2	30
使用教材	サービス接遇検定 3 級公式テキスト サービス接遇検定実問題集 3 級			出版社	早稲田教育出版

科目の基礎情報②

授業のねらい	敬語の使い方や履歴書の書き方、ビジネス文書の書き方など、社会人としての考え方やマナーを身につける。				
到達目標	サービス接遇検定 3 級に合格する。 基本的なビジネス文書を作成することができる。				
評価基準	小テスト 3 0 % ・ 提出物 3 0 % ・ 検定合格 4 0 %				
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者				
関連資格	サービス接遇検定 3 級				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目はオンデマンド型遠隔授業形式にて実施する。				
担当教員	吉江 妙子			実務経験	○
実務内容	団体及び個人、美容関係者に対してのセミナー講師				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ビジネスマナーとは	サービススタッフに必要とされる要件について 身だしなみについて
2	サービススタッフの 資質・専門・一般知識	サービス業界で求められている敬語、話し方の重要性を学ぶ
3	対人技能	対人技能、エレベーターでの案内、席次について学ぶ
4	敬語	敬語について学ぶ
5	実務技能	実務的な技能を学ぶ

6	慶事・弔事のマナー	社交業務について学ぶ
7	接遇者としての知識	接遇者について学ぶ
8	検定対策	過去問題より検定対策
9	社外文書	社外文書の書き方を学ぶ
10	コミュニケーション能力	人間関係の構築・社内・社外でのコミュニケーション能力の高め方
11	電話対応	電話対応の方法について学ぶ
12	名刺交換・お茶出し	名刺交換の方法、お茶の出し方を学ぶ
13	面接のマナー	面接試験のマナーについて学ぶ
14	受付から誘導まで	受付から誘導までの方法を学ぶ
15	総合学習	総まとめ

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	パーソナルカラー		
必修選択	選択	(学則表記)	パーソナルカラー		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ウェディングプランナー科	2	30
使用教材	パーソナルカラーコーディネート検定公式テキスト パーソナルカラーコーディネート公式ワークブック		出版社	クリエスクール	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	色に関する知識・法則・技法を理論的かつ実践的に身に付ける				
到達目標	パーソナルカラーコーディネート検定に合格する 様々なブライダルシーンの実践において色に対する提案力・コーディネート力を発揮できる人材になる				
評価基準	小テスト40％・提出物30％・授業態度30％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	パーソナルカラーコーディネート検定				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目はオンデマンド型遠隔授業形式にて実施する。				
担当教員	大越 まさみ		実務経験	○	
実務内容	アパレル通信サイトにてカラーコーディネートやスタイリング業務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	パーソナルカラーについて 色の性質①	・ パーソナルカラーの重要性を知る ・ 色の持つ性質や特徴を理解する
2	色の性質② 色の心理的効果	・ 有彩色と無彩色を理解する・ 色の三属性を理解する ・ 色の心理的効果を理解する
3	色のトーン①	・ トーンごとに持つ色のイメージを学ぶ
4	配色①	・ 配色の基礎を学び、配色構成を理解する・ 色相環・ トーンを理解した上で配色を考える ・ イメージ配色の重要性を理解する
5	配色② 光の三要素 眼のしくみ	・ 和装の配色方法を学ぶ・ 色がなぜ見えるのかを学ぶ ・ 三要素を理解した上で、眼のしくみについて学ぶ

6	混色 対比・補色対比	・加法混色と減法混色を学ぶ ・対比・補色対比について学ぶ
7	色のトーン②	・トーンの4つのグループの特徴を理解する ・メイク・ヘアカラーを相手がどのタイプか見分けアドバイスができる練習をする
8	色のトーン③	・ネイルを相手がどのタイプか見分けアドバイスができる練習をする ・ドレス・ブーケを相手がどのタイプか見分けアドバイスができる練習をする
9	パーソナルカラー判定① 慣用色名	・パーソナルカラー判定の流れを知る・4パターンファッションについて理解する ・慣用色名について学ぶ
10	検定対策①	検定対策
11	検定対策②	同上
12	検定対策③	同上
13	パーソナルカラー判定②	自分がどのグループか判定を行い、似合う色をチェックする
14	パーソナルカラー判定③	各シーズンの特徴を学びファッションのアドバイスを実践する
15	総合学習	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ブライダルジュエリー		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルジュエリー		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ウェディングプランナー科	1	15
使用教材	なし			出版社	なし

科目の基礎情報②

授業のねらい	ブライダルに関わるジュエリーの基礎知識を学ぶ				
到達目標	ブライダルジュエリーの基礎知識、業界の動向を学び、お客様に幅広い提案の出来る人材を目指す				
評価基準	課題 60% テスト 30% 提出期限 10%				
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目はオンデマンド型遠隔授業形式にて実施する				
担当教員	春藤 聡子			実務経験	○
実務内容	ジュエリーショップ勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	導入	ブライダルジュエリーの知識の必要性 ブライダルジュエリーの歴史
2	ブライダルジュエリー基礎①	ジュエリーコーディネーターの役割
3	ブライダルジュエリー基礎②	ブライダルジュエリーの基礎知識を学ぶ
4	五大輝石①ダイヤモンド	ブライダルジュエリー（ダイヤモンド）の基礎知識を学ぶ
5	五大輝石②ルビー・サファイア	ブライダルジュエリー（ルビー・サファイア）の基礎知識を学ぶ
6	五大輝石③エメラルド・真珠	ブライダルジュエリー（エメラルド・真珠）の基礎知識を学ぶ

7	接客知識①	指輪のサイズの調べ方 ジュエリーメンテナンス方法
8	接客知識②	ジュエリーのコーディネート基礎
9	接客知識③	指輪、ネックレス、イヤリングのコーディネート
10	ブライダルジュエリーブランドについて（国内）	ブライダルジュエリーブランドの基礎知識を学ぶ（国内ブランド）
11	ブライダルジュエリーブランドについて（海外）	ブライダルジュエリーブランドの基礎知識を学ぶ（海外ブランド）
12	ジュエリーボックスのラッピングについて	ジュエリーボックスのラッピングの種類とラッピング方法
13	婚約指輪について	プロポーズのと指輪の繋がり歴史、婚約指輪のデザイン
14	前期試験	筆記試験
15	総まとめ	総まとめ

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	アテンド実践 A		
必修選択	選択	(学則表記)	アテンド実践 A		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ウェディングプランナー科	1	30
使用教材	ブライダルコーディネーターテキスト スタンダード		出版社	BIA 公益社団法人日本ブライダル文化振興協会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	結婚式当日のアテンダー（介添）の知識、立ち振る舞い、と心得を修得することにより、結婚式当日の挙式の流れも理解する				
到達目標	授業を通して、衣装の取り扱いを理解し、ブライダルプロジェクト時(模擬挙式)に実践する				
評価基準	テスト(小テスト含む) 5 0 % 実技 3 0 % 授業態度 2 0 %				
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者				
関連資格	無				
関連科目	ドレスデザイン A ・ ブライダルプロジェクトⅠ A				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	大川 綺萌		実務経験	○	
実務内容	結婚式場でのサービススタッフ 8 年 (レストランサービス、結婚式当日のディレクション、アルバイトの研修・マネジメント)				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	自己紹介・導入 結婚式について アテンド（介添）について	結婚式の種類・アテンド（介添）について知る
2	当日のアテンド（介添） 業務について	新郎新婦様来館から挙式披露宴の介添えの動きを学ぶ
3	アテンド（介添）に 求められる要素	アテンド（介添）の位置づけを理解した上で、求められる要素を考える
4	アテンド（介添）について （説明）	・挙式の流れ、アテンドの位置確認とアテンドの動き、ベール、ブーケ、手袋の扱い方・新郎新婦の立ち振る舞いについて（立ち方・歩き方・座り方）アテンダーの立ち振る舞いについて（立たせ方・座らせ方・持ち方・誘導の仕方）

5	アテンド（介添）について （説明）	和装のアテンドの仕方、新郎新婦の立ち振る舞いについて学ぶ
6	アテンド（介添）について （実践）	新郎新婦の立ち振る舞いの実践を行う
7	挙式のアテンド① （実践）	挙式の流れ通りにロールプレイングを行う
8	挙式のアテンド② （実践）	挙式の流れ通りにロールプレイングを行う
9	挙式のアテンド③ （実践・小テスト）	挙式アテンドの小テスト
10	挙式のアテンド④ （模擬挙式の練習）	ブライダルプロジェクトⅠAと連動し、模擬挙式のロールプレイングを行う
11	挙式のアテンド⑤ （模擬挙式の練習）	ブライダルプロジェクトⅠAと連動し、模擬挙式のロールプレイングを行う
12	挙式のアテンド⑥ （模擬挙式の練習）	ブライダルプロジェクトⅠAと連動し、模擬挙式のロールプレイングを行う
13	配慮が必要なお客様の対応	配慮が必要なお客様への知識（マタニティ、お子様連れ、足が不自由、高齢のお客様）を学び、対応方法を考える
14	前期試験	ここまで学んできた内容をアウトプットする
15	総合学習	総合学習

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	アテンド実践 B		
必修選択	選択	(学則表記)	アテンド実践 B		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ウェディングプランナー科	1	30
使用教材	なし		出版社		
科目の基礎情報②					
授業のねらい	結婚式当日のアテンド業務・宴会キャプテン業務を理解する				
到達目標	結婚式当日のアテンド業務・宴会キャプテン業務を理解し、実際に言動でも出来るようになっている。				
評価基準	テスト（筆記/実技）：40％ ロール・プレイング、シミュレーション：30％ 授業態度：30％				
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者				
関連資格					
関連科目	アテンド実践 A・ブライダルプロジェクトⅠ（模擬披露宴） ブライダルプロジェクトⅡ（ウェディングプロデュース）				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	大川 綺萌		実務経験	○	
実務内容	結婚式場でのサービススタッフ 8 年 (レストランサービス、結婚式当日のディレクション、アルバイトの研修・マネジメント)				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	自己紹介 前期振り返りを実施	挙式アテンドの振り返りと復習
2	コンシェルジュのアテンド クロークスタッフのアテンド	コンシェルジュ（クローク）の業務内容を理解する
3	キャプテン 結婚式当日の動きを学ぶ①	会場責任者の重要性、業務内容を理解する
4	キャプテン 結婚式当日の動きを学ぶ②	会場入り～披露宴おひらきまでの動きについて理解する
5	受付の説明 親族紹介の進め方を学ぶ	受付の説明、親族紹介について理解する

6	披露宴入場説明 お色直し入場説明 先導について	それぞれの入場説明が出来るようになり、新郎新婦を先導し高砂席へアテンドすることが出来る。 (控室から会場に案内する際の口上も学ぶ)
7	披露宴入場説明 お色直し入場説明 先導について	それぞれの入場説明が出来るようになり、新郎新婦を先導し高砂席へアテンドすることが出来る。 (控室から会場に案内する際の口上も学ぶ)
8	ケーキ入刀、 手紙・花束贈呈（演出） アテンドについて	結婚式の演出に合わせての口上を学ぶ
9	ケーキ入刀、 手紙・花束贈呈（演出） アテンドについて	結婚式の演出に合わせての口上を学ぶ
10	退場～おひらき アテンドについて	新郎新婦退場～おひらきまでの一連の流れを知る
11	筆記テスト	筆記テスト
12	実技テスト	実技テスト
13	アテンド実践①	ウェディングプロデュースに向けて、グループに分かれアテンド練習
14	アテンド実践②	ウェディングプロデュースに向けて、グループに分かれアテンド練習
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	アテンド実践 A		
必修選択	選択	(学則表記)	アテンド実践 A		
開講			単位数	時間数	
年次	1 年	学科	ウェディングプランナー科	1	30
使用教材	ブライダルコーディネーターテキスト スタンダード		出版社	BIA 公益社団法人日本ブライダル文化振興協会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	結婚式当日のアテンダー（介添）の知識、立ち振る舞い、と心得を修得することにより、結婚式当日の挙式の流れも理解する				
到達目標	授業を通して、衣装の取り扱いを理解し、ブライダルプロジェクト時(模擬挙式)に実践する				
評価基準	テスト(小テスト含む) 5 0 % 実技 3 0 % 授業態度 2 0 %				
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者				
関連資格	無				
関連科目	ドレスデザイン A ・ ブライダルプロジェクトⅠ A				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	大川 綺萌		実務経験	○	
実務内容	結婚式場でのサービススタッフ 8 年 (レストランサービス、結婚式当日のディレクション、アルバイトの研修・マネジメント)				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	自己紹介・導入 結婚式について アテンド（介添）について	結婚式の種類・アテンド（介添）について知る
2	当日のアテンド（介添） 業務について	新郎新婦様来館から挙式披露宴の介添えの動きを学ぶ
3	アテンド（介添）に 求められる要素	アテンド（介添）の位置づけを理解した上で、求められる要素を考える
4	アテンド（介添）について （説明）	・挙式の流れ、アテンドの位置確認とアテンドの動き、ベール、ブーケ、手袋の扱い方・新郎新婦の立ち振る舞いについて（立ち方・歩き方・座り方）アテンダーの立ち振る舞いについて（立たせ方・座らせ方・持ち方・誘導の仕方）

5	アテンド（介添）について （説明）	和装のアテンドの仕方、新郎新婦の立ち振る舞いについて学ぶ
6	アテンド（介添）について （実践）	新郎新婦の立ち振る舞いの実践を行う
7	挙式のアテンド① （実践）	挙式の流れ通りにロールプレイングを行う
8	挙式のアテンド② （実践）	挙式の流れ通りにロールプレイングを行う
9	挙式のアテンド③ （実践・小テスト）	挙式アテンドの小テスト
10	挙式のアテンド④ （模擬挙式の練習）	ブライダルプロジェクトⅠAと連動し、模擬挙式のロールプレイングを行う
11	挙式のアテンド⑤ （模擬挙式の練習）	ブライダルプロジェクトⅠAと連動し、模擬挙式のロールプレイングを行う
12	挙式のアテンド⑥ （模擬挙式の練習）	ブライダルプロジェクトⅠAと連動し、模擬挙式のロールプレイングを行う
13	配慮が必要なお客様の対応	配慮が必要なお客様への知識（マタニティ、お子様連れ、足が不自由、高齢のお客様）を学び、対応方法を考える
14	前期試験	ここまで学んできた内容をアウトプットする
15	総合学習	同上

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	アテンド実践 B		
必修選択	選択	(学則表記)	アテンド実践 B		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ウェディングプランナー科	1	30
使用教材	なし		出版社		
科目の基礎情報②					
授業のねらい	結婚式当日のアテンド業務・宴会キャプテン業務を理解する				
到達目標	結婚式当日のアテンド業務・宴会キャプテン業務を理解し、実際に言動でも出来るようになっている。				
評価基準	テスト（筆記/実技）：40％ ロール・プレイング、シミュレーション：30％ 授業態度：30％				
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者				
関連資格					
関連科目	アテンド実践 A・ブライダルプロジェクトⅠ（模擬披露宴） ブライダルプロジェクトⅡ（ウェディングプロデュース）				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	大川 綺萌		実務経験	○	
実務内容	結婚式場でのサービススタッフ 8 年 (レストランサービス、結婚式当日のディレクション、アルバイトの研修・マネジメント)				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	自己紹介 前期振り返りを実施	挙式アテンドの振り返りと復習
2	コンシェルジュのアテンド クロークスタッフのアテンド	コンシェルジュ（クローク）の業務内容を理解する
3	キャプテン 結婚式当日の動きを学ぶ①	会場責任者の重要性、業務内容を理解する
4	キャプテン 結婚式当日の動きを学ぶ②	会場入り～披露宴おひらきまでの動きについて理解する
5	受付の説明 親族紹介の進め方を学ぶ	受付の説明、親族紹介について理解する

6	披露宴入場説明 お色直し入場説明 先導について	それぞれの入場説明が出来るようになり、新郎新婦を先導し高砂席へアテンドすることが出来る。 (控室から会場に案内する際の口上も学ぶ)
7	披露宴入場説明 お色直し入場説明 先導について	それぞれの入場説明が出来るようになり、新郎新婦を先導し高砂席へアテンドすることが出来る。 (控室から会場に案内する際の口上も学ぶ)
8	ケーキ入刀、 手紙・花束贈呈（演出） アテンドについて	結婚式の演出に合わせての口上を学ぶ
9	ケーキ入刀、 手紙・花束贈呈（演出） アテンドについて	同上
10	退場～おひらき アテンドについて	新郎新婦退場～おひらきまでの一連の流れを知る
11	筆記テスト	同上
12	実技テスト	同上
13	アテンド実践①	ウェディングプロデュースに向けて、グループに分かれアテンド練習
14	アテンド実践②	同上
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	ブライダルセールス A		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルセールス A		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ウェディングプランナー科	2	30
使用教材	ブライダルコーディネーターテキスト スタンダード			出版社	公益社団法人 日本ブライダル文化復興協会
科目の基礎情報②					
授業のねらい	新規接客の重要性や打合せにおける立ち振る舞いやカウンセリング方法、トークスキル等を理解・習得し、円滑なコミュニケーションでセールスできるようになる。				
到達目標	新規接客及び顧客に向けた営業（付帯セールス）において、一方的な接客ではなくお客様に合わせた接客スキルを身につける。 なぜブライダル業界において第一印象が重要なのかを理解した上で、立ち居振る舞い・姿勢・表情・前向きな言葉遣いを意識し、業界の正しい身だしなみ等がインターンシップや日頃の学校生活で実践できる。 会場調査（自社の強み、他社比較）が出来るようになり、就職活動でも活かすことが出来る 今後のブライダルプロジェクトにて、話し方、聴き方、カウンセリングで効果的な質問や受け答えが出来るようになる				
評価基準	テスト：50％ ロールプレイング：40％ 授業態度：10％				
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者				
関連資格					
関連科目	ブライダルセールス B・ハウスセールス・ホテルセールス ブライダルプロジェクトⅡ（ウェディングプロデュース）				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	松尾 智世子			実務経験	○
実務内容	ウェディングプランナー				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	導入	・教員自己紹介・授業ルールについて ・皆が考えるセールスのゴールを考え様々な意見を吸収する
2	ウェディングビジネス マインド	結婚式を創る仕事をするプランナーの心構えについて 人が喜ぶ究極のおもてなしとは？（購買行動の心理について考える）
3	身だしなみ	・自己表現（オシャレ）と自己演出（身だしなみ）の違い ・プランナーとして、スタッフとして、どう見られているのかという意識を持ち自己演出を考える

4	笑顔	笑顔と見られるポイントと使い分けを身につける
5	立ち居振る舞い	①立ち方 ②歩き方 ③手の組み方 ④座り方 ⑤物の渡し方 ⑥物の指し方 高額商品を売る側として、美しい立ち居振る舞いを身につける
6	求められる5つの基本能力 アイスブレイクについて①	・プレゼンテーション力とは ・ヒアリング力、コーディネート力、営業力、問題解決力とは自分自身に足りない力を見つけ、伸ばすためにはどうしたらよいかを知る。・アイスブレイクとは
7	新規接客のご挨拶 アイスブレイク② ロールプレイング①	名刺交換の知識を伝え、これまで学んだ、身だしなみ、立ち居振る舞い、笑顔を意識し、新規接客のご挨拶のロールプレイング。
8	新規接客のご挨拶 アイスブレイク③ ロールプレイング②	名刺交換の知識を伝え、これまで学んだ、身だしなみ、立ち居振る舞い、笑顔を意識し、新規接客のご挨拶のロールプレイング。
9	タイプ別の対応を理解する 発想の転換	お客様には心地よいと思う話し方がそれぞれ異なり、相手（お客様）が自分に合っていないではなく、自分が相手に合わせて接客することが大切だと学ぶ。発想の転換でポジティブに変換する。
10	お客様の印象が変わる話し方	■①話すスピード ②声の大きさ ③話すクセ ④視線 ⑤身振り・手振り ⑥表情を意識して、お客様が心地よいと感じる話し方を身に付ける。
11	お客様の印象が変わる聴き方	■①二人（新郎新婦）の対応 ②あいづち ③繰り返し ④間の取り方を意識して、お客様は話しやすいと感じる聴き方を身につける。（ペアワーク実施）
12	半期のまとめ	半期のまとめを行う（立ち居振る舞い、身だしなみ、話し方、聴き方、アイスブレイク等）
13	資料請求・HP・WEB・SNS ・問い合わせ	・集客方法とそれぞれの手法の対応方法について ・問合せに対する返信文やSNSの発信について等、お客様視点で考える力を身につける
14	ブライダルフェア・相談会 論理的思考のトレーニング総まとめ	・企業のHP、ゼクシィ等を使い、ブライダルフェアの目的、内容を調べ、各会場の強みにについて知る ・論理的思考のトレーニング（話し方を意識して魅力的に伝える） ・総まとめを行う
15	ブライダルフェア・相談会 論理的思考のトレーニング総まとめ	同上

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	ブライダルセールス B		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルセールス B		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ウェディングプランナー科	2	30
使用教材	ブライダルコーディネーターテキスト スタンダード		出版社	公益社団法人 日本ブライダル文化復興協会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	新規接客の重要性や打合せにおいての立ち振る舞いやカウンセリング方法、トークスキル等を理解・習得し、円滑なコミュニケーションでセールスできるようになる。				
到達目標	ブライダルセールス A で学んだ内容を実践出来ている状態で、よりお客様の満足度を得られる接客スキル、基礎基本を身につける。 新規接客前の集客の仕組み、ブライダルフェアでの予約の電話対応、お問い合わせに対する応対ができるようになる。 自社の強みが理解した上で、第三者に魅力的に伝えることができる 新規接客の基本的な流れを理解する。(本格的な資料の使い方や手法を取り入れた授業は 2 年次)				
評価基準	テスト：40% ロールプレイング：50% 授業態度：10%				
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者				
関連資格					
関連科目	ブライダルセールス A・ハウスセールス・ホテルセールス ブライダルプロジェクトⅡ（ウェディングプロデュース）				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	松尾 智世子		実務経験	○	
実務内容	ウェディングプランナー				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	新規が来館するまでについて考える	実際に自分がお客様の立場になった時にどのような応対をされると良いか考えることで、来館前の応対がいかに重要かを知る
2	電話応対 (知識 + 実践) ■電話応対の基本 ■ブライダルフェアの予約 メモの取り方	電話の受け方、取次ぎ、電話をかける、表情、準備物等を学ぶ 電話でブライダルフェアの予約を受ける際の注意点を学ぶ 簡潔に分かりやすく伝える知識を身につける 電話をしながら、メモをとる実践

3	電話対応（知識＋実践） ■電話対応の基本 ■ブライダルフェアの予約 メモの取り方	同上
4	新規接客の目的・ゴール	ブライダルフェアや相談会でプランナーが行う新規接客のゴールを理解する
5	新規接客の流れと資料について 来館アンケートについて	お出迎え～クロージングまでの順番、時間配分・目的・ポイントを理解する 来館アンケートをもとに、お客様の要望を理解する
6	新規接客の流れと資料について 来館アンケートについて	同上
7	新規接客を体験してみる （来館からアンケート用紙説明まで）	新人ウェディングプランナーが任されやすいお客様の最初のご案内方法について学び、実践できるようになる →8 週目ではロープレテストを実施
8	新規接客を体験してみる （来館からアンケート用紙説明まで）	同上
9	日にちのヒアリング、日程の売り方	ヒアリングの仕方を工夫し、カレンダー（六輝）を使って、お客様に日程のご提案方法を理解する
10	クロージング	クロージングの目的、ゴールについて
11	チャペルの新規トークについて	チャペルの新規トークについて理解する 前期で学んだお客様の印象が変わる話し方を意識して魅力的にお客様に伝える
12	チャペルの新規トークについて	同上
13	半期のまとめ①	半期のまとめを行う
14	半期のまとめ②	同上
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	サービス実践		
必修選択	選択	(学則表記)	サービス実践		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ウェディングプランナー科	1	30
使用教材	基礎からわかるレストランサービススタンダードマニュアル		出版社	日本ホテル・レストランサービス 技能協会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	婚礼やレストランにおけるサービスの知識と技術を学び、お客様に合わせたサービスができるようになる。 また、 テーブルマナーや飲食に関する知識を学び知見を広げる。				
到達目標	基礎的な料飲サービスができるようになる。 正しい接客用語やテーブルマナーを理解し実践できるようになる。				
評価基準	テスト（実技 40％・筆記 40％）：80％ 授業態度：20％				
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者				
関連資格					
関連科目	ブライダルプロジェクトⅠ（模擬披露宴） ブライダルプロジェクトⅡ（ウェディングプロデュース）				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	大川 綺萌		実務経験	○	
実務内容	結婚式場でのサービススタッフ 8 年 (レストランサービス、結婚式当日のディレクション、アルバイトの研修・マネジメント)				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション	・自己紹介 ・授業の目的、使用教科書、成績評価、授業のルール ・サービスについて考える
2	接客の基本 接客における好ましい表現	サービスの姿勢、笑顔、接客用語、身だしなみ
3	什器備品の知識 テーブルクロスへのセッティング	それぞれの特徴や用途・取扱い方法を知る クロスのかけ方、ナプキン折りについて理解する

4	基本のテーブルセッティング テーブルマナー メニューの読み方を知る	フルコースのテーブルセッティングを学ぶ 西洋料理のテーブルマナー、フランス料理フルコースの表現を理解する
5	お出迎え～提供サービス① (婚礼サービス) 実技(練習)	チェアサービス、卓挨拶 サービストレイの取り扱い
6	飲料サービス	水、ウォーターピッチャー、コーヒー、紅茶、ワインのサービスを学ぶ 提供方法を知り、実践する(トレイ上での動作も学ぶ)
7	お出迎え～提供サービス② (婚礼サービス) 実技(練習)	料理皿の提供と下げの作業動作を理解し実践する
8	お出迎え～提供サービス③ (婚礼サービス) 実技(練習)	パンバスケットを使用したパンサービスを実践する(サーバーの持ち方) 食後のデザート、生ケーキ、コーヒーのサービスを実践する(グラス以外のトレイサービス復習)
9	お出迎え～提供サービス④ (婚礼サービス) 実技(練習)	迎賓から乾杯酒のサービス、料理提供、食後のコーヒーサービスまでを通して実践する
10	どんでんについて	どんでんの流れを把握し、実践する
11	実技テスト	迎賓から乾杯酒のサービス、料理提供、食後のコーヒーサービスまでを通してテスト
12	レストランの管理業務組織を知る	レストランの管理業務・組織を知る 婚礼サービスとレストランサービスの違いを知る
13	レストラン等の電話応対 アレルギーについて	レストランのレセプションの電話応対・正しい接客用語を学ぶ食物アレルギーについての知識を知る
14	筆記テスト	半期のまとめを行う
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	パソコン演習 A		
必修選択	選択	(学則表記)	パソコン演習 A		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ウェディングプランナー科	1	30
使用教材	パソコン技能検定対策問題集 3 級・模擬問題集 3 級 30 時間でマスター Word & Excel 2021		出版社	株式会社ユアサポート 実教出版	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	検定取得を目指し、基本的な入力方法から書類作成など、パソコンの技能を習得				
到達目標	社会人として必要とされるパソコンの基礎操作ができるようになる				
評価基準	検定・テスト 6 0 %、課題提出 2 0 % 授業態度 2 0 %				
認定条件	出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者、成績評価が 2 以上の者				
関連資格	パソコン技能検定 3 級（後期パソコン演習 B にて実施）				
関連科目	パソコン演習 B				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	高橋 めぐみ		実務経験	○	
実務内容	システムエンジニア 7 年				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション・PC 基礎知識	授業の流れ、検定と到達目標を把握する PC 基礎知識、タッチタイピング、ソフト、OC の使用方法、リテラシーについて理解する
2	Word 入門①	Word の基礎知識について・文字入力方法を理解する
3	Word 入門②	文章入力、入力の訂正、特殊な入力方法を学ぶ
4	Word 入門③	文の入力、文書の保存と読み込み、印刷、複写・削除・移動を学ぶ
5	Word 活用	文字揃え、文字装飾、均等割り付け、フォントの変更、サイズの変更、下線・太字・斜体を学ぶ
6	Word 応用①	表の作成・編集を実施する

7	Word 応用②	同上
8	文書作成	表入りビジネス文書作成を実施する
9	Excel 入門	データ入力の手順、基本的なワークシートの編集、Excel 書式設定について理解する
10	Excel 応用①	オート SUM、関数、四則演算を実施する
11	Excel 応用②	グラフの作成、グラフの設定変更を実施する
12	検定対策①	表入りビジネス文書作成練習、学科問題を実施する
13	検定対策②	同上
14	前期確認テスト	確認テスト(学科、タイピング、Word 文書作成)を実施する
15	前期パソコン演習 A 復習	前期パソコン演習 A の総まとめ 確認テスト問題解説を実施する

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	パソコン演習 B		
必修選択	選択	(学則表記)	パソコン演習 B		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ウェディングプランナー科	1	30
使用教材	パソコン技能検定対策問題集 3 級・模擬問題集 3 級		出版社	株式会社ユアサポート	
	30 時間でマスター Word & Excel 2019or2021			実教出版	
	今すぐ使えるかんたん PowerPoint 2024			秀和システム	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	検定取得を目指し、基本的な入力方法から書類作成など、パソコンの技能を習得				
到達目標	検定合格をすることで、社会人として必要とされるパソコンの基礎操作ができるようになる				
評価基準	テスト 60%、課題提出 20% 授業態度 20%				
認定条件	出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者、成績評価が 2 以上の者				
関連資格	パソコン技能検定 3 級				
関連科目	パソコン演習 A				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	高橋 めぐみ		実務経験	○	
実務内容	システムエンジニア 7 年				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	PowerPoint 入門	テキストボックス、図形、画像の挿入等、今まで学んだ Word, Excel を踏まえ PowerPoint の動作を学ぶ
2	パワーポイント基礎①	プレゼンテーションとは、PPT の基本操作を学ぶ
3	パワーポイント基礎②	パワーポイントを使ったプレゼンテーション資料の作成を行う
4	パワーポイント基礎③	同上
5	Word 復習	表入りビジネス文書作成と復習を行う

6	Excel 復習①	表計算問題を実施する
7	Excel 復習②	表計算問題を実施する
8	Word・Excel 復習	表入りビジネス文書、表計算問題を実施する
9	検定対策①	模擬問題実施(学科、タイピング、Word 文書作成、表計算問題)
10	検定対策②	同上
11	後期テスト	学科、タイピング、Word 文書作成、表計算問題の実施
12	問題解説	確認テスト問題解説を行う
13	パワーポイントプレゼン制作	オリジナルプレゼンテーションの作成を行う
14	パワーポイントプレゼン応用	オリジナルプレゼンテーションにアニメーション、音楽の挿入を行う
15	総合授業	総まとめを実施

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	コーディネート A		
必修選択	選択	(学則表記)	コーディネート A		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ウェディングプランナー科	1	15
使用教材	WEDDING SPACE		出版社	日本ウェディングスタイリスト協会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	会場・テーブルコーディネート・イメージ分類などブライダルデザインに繋がる知識や技術を学ぶ				
到達目標	コーディネートの必要性を理解する。				
評価基準	テスト 4 0 % ・ 授業態度 3 0 % ・ 提出物 3 0 %				
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は オンデマンド授業形式と同時双方向型遠隔 授業形式を併用し、実施する。				
担当教員	遠藤 智緒里		実務経験	○	
実務内容	ウェディングコーディネーター				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	日本の結婚式の特徴	各地域の結婚式の慣習を学ぶ
2	空間コーディネートとは	空間コーディネートとデコレーションの違いを学ぶ
3	空間コーディネートのポイント	空間コーディネートにおける重要なポイントを学ぶ
4	集中講義① 日本の結婚式の特徴について	各地域の結婚式の慣習について発表・情報共有を行う
5	集中講義② コーディネートのスペース	コーディネートスペースの特徴と装飾スタイルについて学ぶ
6	集中講義③ コーディネートアイテムについて	コーディネートアイテムの特徴について学ぶ

7	集中講義④ テーブルコーディネートの基礎 少人数ウェディングのレイアウト について	少人数ウェディングの会場レイアウトを作成する
8	ウェディングフラワーの知識	ウェディングフラワーの種類と特徴について学ぶ
9	ウェディングにまつわる言伝え	ウェディングにまつわる言伝えや慣習を学ぶ
10	デコレーションの構成	デコレーションの構成について学ぶ
11	カラーコーディネート	空間におけるカラーコーディネートについて学ぶ
12	集中講義⑤ コンセプトとそのイメージ	結婚式のコンセプトについて考える
13	集中講義⑥ エリア別の人気会場について	地域ごとの人気会場について調査する
14	集中講義⑦ 披露宴会場のコーディネート	披露宴会場のコンセプトメイクをする
15	テスト	前期テスト

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	フラワーアレンジ		
必修選択	選択	(学則表記)	フラワーアレンジ		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ウェディングプランナー科	2	45
使用教材	花と遊ぶ・花を学ぶフラワーデザイン入門			出版社	講談社

科目の基礎情報②

授業のねらい	ウェディングに人気の花の種類・値段・ブーケ・装花のスタイルと作成技術を習得する		
到達目標	ブライダルフラワーアレンジメント資格を取得する。 ブライダル装花の種類を理解し、様々なスタイルが作成できる。		
評価基準	テスト 30％・授業態度 30％・検定合格 40％		
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者		
関連資格	ブライダルフラワーアレンジメント		
関連科目	なし		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	仁井田 渉	実務経験	○
実務内容	フラワーショップ 5 年間、ブライダル企業フラワー部門 4 年間勤務後、フラワーショップ経営		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	・フラワーデザインについて ・リボン作成	・フラワーデザインやウェディングフラワーについて学ぶ ・リボンの作り方を学び、実践する
2	コサージュ・ブートニア	ワイヤリング、テーピング方法を学び、コサージュ作成を行う
3	花束・ラッピング	ラッピングの必要性、保水方法を学び、花束作成を行う
4	ゲストテーブル①（ドーム型）	ゲストテーブルのアレンジメントの種類を学び、ドーム型アレンジメント作成を行う
5	ラウンドブーケ①	ドレスとの相性やトレンドを学び、ラウンドブーケ作成を行う
6	ゲストテーブル②（水平型）	テーブルの形をテーブルアレンジの関係を学び、水平型アレンジメント作成を行う

7	メインテーブル	ホリゾンタル型を生かし、メインテーブル製作をグループで作成する
8	いろいろなアレンジ	ブライダルフラワーのバリエーションを学び、ギフト用バスケットアレンジを作成する
9	カスケードブーケ	ラウンドブーケの作り方を応用し、カスケードブーケを作成する
10	テスト	テスト
11	トライアングュラー	三角形の作り方を学び、トライアングュラー型アレンジを作成する
12	フローラルアクセサリ	ウェディングにおいてのフローラルアクセサリの種類を学び、作成する
13	ラウンドブーケ②	ブーケホルダーを用いたラウンドブーケ作成
14	ブライダル装花	グループでテーマを決め、イメージに合わせたアレンジを作成する
15	総合授業	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ブライダルプロジェクト I A		
必修選択	必修	(学則表記)	ブライダルプロジェクト I A		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ウェディングプランナー科	1	30
使用教材	なし			出版社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	日頃の授業のアウトプットとして人前式の企画・施行の全てを行うことができる。				
到達目標	挙式の一連の流れを理解する。 各役割で連携を取り、模擬挙式を作ることが出来る。				
評価基準	授業態度 4 0 % ・ 制作物 4 0 % ・ 振り返り 2 0 %				
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者				
関連資格					
関連科目	アテンド実践 A				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	渡村 麻里 他 2 名			実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	概要の把握	模擬挙式概要を把握する 当日までのスケジュール、各セクションについて理解する
2	目標・テーマ・各セクション決定	目標立て・模擬挙式のテーマ決め・各セクションメンバーを決める
3	スケジュール・予算立て、デッサンシート作成	チームごとに準備スケジュール立て・チーム費の使い方説明・予算立てを行う
4	各セクション制作①	各セクションごとに準備を進める
5	各セクション制作②	同上
6	各セクション制作③	同上

7	各セッション制作④	同上
8	紙上リハーサル	完成した進行表をもとに紙上リハーサルを行う
9	挙式リハーサル①	挙式リハーサル①を行う（各セッション、動きの確認）
10	挙式リハーサル②	挙式リハーサル②を行う（各セッション、動きの確認）
11	挙式リハーサル③	挙式リハーサル③を行う（各セッション、動きの確認）
12	全体リハーサル①	全体リハーサル①を行う（受付～誘導～挙式～お見送り）
13	全体リハーサル②	全体リハーサル②を行う（受付～誘導～挙式～お見送り・タイム取り）
14	振り返り	模擬挙式の振り返りを記入
15	総まとめ	振り返りの返却・総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ブライダルプロジェクト I B		
必修選択	必修	(学則表記)	ブライダルプロジェクト I B		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ウェディングプランナー科	1	30
使用教材	なし			出版社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	・ブライダル業界を担う人材として業界の課題を見つけ、改善するための企画力と再現力を身につける ・業界で求められるニーズを把握し、再現するためのコーディネート力を習得する				
到達目標	・ブライダル業界の課題に対する改善策を考え、プレゼンテーション出来る ・これまで学んだ技術を生かし、花嫁の全身コーディネートを創りあげる				
評価基準	校内選考企業評価 5 0 % ・ グループレポート 3 0 % ・ 授業態度 2 0 %				
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	渡村 麻里 他 2 名			実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	後期行事について	ブライダルコンペティションについて概要を把握する 企業様によるブライダル業界についての講話を聞く
2	成績評価について	成績評価に加わるレポートについて把握する 全国コンペティションの映像を鑑賞する
3	チーム分け	チーム分けの発表 チームごとに内容を検討する
4	内容検討	チームごとに内容を検討する グループレポートを記入する
5	プレゼンテーション準備	チームごとにプレゼンテーション、制作準備を進める
6	プレゼンテーション準備	同上

7	プレゼンテーション準備	チームごとにプレゼンテーション、制作準備を進める
8	プレゼンテーション準備	同上
9	プレゼンテーション準備	同上
10	リハーサル	リハーサルを行う
11	リハーサル	同上
12	リハーサル	同上
13	本番	コンペティション本番 (授業外での開催の可能性もあり)
14	振り返り	コンペティション振り返りを実施する
15	総まとめ	後期総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	未来デザインプログラム A		
必修選択	必修	(学則表記)	未来デザインプログラム A		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ウェディングプランナー科	1	15
使用教材	7つの習慣 J テキスト 夢のスケッチブック (WEB アプリ)			出版社	FCE エデュケーション

科目の基礎情報②

授業のねらい	7つの習慣を体系的に学ぶことを通じ、三幸学園の教育理念である「技能と心の調和」のうち「心」の部分をも身につける。				
到達目標	・ 7つの習慣について、自身の言葉で説明することができる。 ・ 7つの習慣を自らの生活と紐づけ、前向きな学習態度として体現することができる。				
評価基準	テスト：20% 授業態度：40% 提出物：40%				
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者				
関連資格	なし				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	三田地 円 他 1 名			実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	専門学校へようこそ！	「未来デザインプログラム」とは何か学ぶ 夢のスケッチブックの使い方を学ぶ
2	SANKO ワークコンピテンス	SANKO ワークコンピテンスの理解を深める
3	7つの習慣とは？	7つの習慣とは何か学ぶ 夢のスケッチブックを使って日誌を書くことの意味を学ぶ
4	自分制限パラダイムを解除しよう！	自分制限パラダイムの意味について学ぶ
5	自信貯金箱	自信貯金箱の概念を理解する 自分自身との約束を守る大切さを学ぶ

6	刺激と反応	「刺激と反応」の考え方を理解する 主体的に判断・行動していくことの大切さを学ぶ
7	言霊 ～ことだま～	言葉の持つ力や自分の言動が、描く未来や成功に繋がっていくことを学ぶ
8	影響の輪	集中すべき事、集中すべきでない事を明確にすることの大切さを学ぶ
9	選んだ道と選ばなかった道	自分が決めたことに対して、最後までやり遂げる大切さを学ぶ
10	人生のビジョン	入学時に考えた「卒業後の姿」をより具体的に考え、イメージする
11	大切なこととは？	なりたい自分になるために優先すべき「大切なこと」には、夢の実現や目標達成に直接関係することだけではなく、間接的に必要なこともあることを学ぶ
12	一番大切なことを優先する	スケジュールの立て方を学ぶ 自らが決意したことを実際の行動に移すことの大切さを学ぶ
13	時間管理のマトリクス	第2領域（緊急性はないが重要なこと）を優先したスケジュール管理について学ぶ
14	私的成功の振り返り	前期授業内容（私的成功）の振り返りを行う
15	リーダーシップを発揮する	リーダーシップを発揮するためには、「主体性」が問われることを学ぶ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	未来デザインプログラム B		
必修選択	必修	(学則表記)	未来デザインプログラム B		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ウェディングプランナー科	1	15
使用教材	7つの習慣Jテキスト 夢のスケッチブック (WEB アプリ)			出版社	FCE エデュケーション

科目の基礎情報②

授業のねらい	7つの習慣を体系的に学ぶことを通じ、三幸学園の教育理念である「技能と心の調和」のうち「心」の部分をも身につける。				
到達目標	・7つの習慣について、自身の言葉で説明することができる。 ・7つの習慣を自らの生活と紐づけ、前向きな学習態度として体現することができる。				
評価基準	テスト：20% 授業態度：40% 提出物：40%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	野口 綾伽 他1名			実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	信頼貯金箱	信頼貯金箱の概念を理解し、周囲から信頼されるための考え方を学ぶ
2	割れた窓の理論	規則を守る大切さ、重要性を理解する
3	Win-Win を考える	お互いがハッピーになれる方法を考えることの大切さを学ぶ
4	豊かさマインド	人を思いやることは自分自身のためでもあることを学ぶ
5	理解してから理解される	人の話の聴き方を考え、「理解してから理解される」という考え方があるということを知る

6	相乗効果を発揮する	人と違いがあることに価値があることを学ぶ
7	自分を磨く	自分を磨くことの大切さ、学び続けることの大切さを考える
8	未来は大きく変えられる	人生は選択の連続であり、未来は自分の選択次第であることを学ぶ
9	人生ビジョンを見直そう	将来のなりたい姿を描き、同時にその生活の実現にはお金が必要であることを学ぶ 現実的なライフプランの大切さを理解する
10	未来マップを作ろう①	未来の自分の姿（仕事、家庭、趣味など）を写真や絵で表現するマップを作成し、将来の夢を実現するモチベーションを高める
11	未来マップを作ろう②	未来マップの発表を通して、自身の夢を実現する決意をする
12	感謝の心	人間関係構築/向上の基本である感謝の心について考える
13	7つの習慣授業の復習	7つの習慣の関連性を学ぶとともに、私的成功が公的成功に先立つことを理解する
14	未来デザインプログラムの振り返り	7つの習慣など、未来デザインプログラムで学んだことを復習（知識確認）する
15	2年生に向けて	1年後の自分の姿を鮮明にし、次年度への目標設定を考える

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	キャリアデザイン I A		
必修選択	選択	(学則表記)	キャリアデザイン I A		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ウェディングプランナー科	2	30
使用教材	各校就職ガイド B O O K			出版社	なし

科目の基礎情報②

授業のねらい	就職の心構えや企業のエントリー・選考方法・履歴書の書き方を知る。 自己分析の上、自分自身を知り就職活動の準備をする。				
到達目標	就職活動の流れを理解する。 魅力的な履歴書の書き方を習得する。 面接方法が実践できる。				
評価基準	授業態度 4 0 % ・ 提出物 6 0 %				
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	キャリアデザイン I B ・ ブライダルビジネスマナー インターンシップ I ・ インターンシップ II ・ インターンシップ III				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	渡村 麻里 他 1 名			実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	就職活動について ブライダル業界の仕事について	2 年間の就職活動の流れを把握する ブライダル業界の職業・職種について知る
2	ブライダル関連企業について	ブライダル企業について調べ方を理解し、実践する
3	身だしなみについて 企業説明会・SPI について	リクルートスタイル・オフィスカジュアルについて知る オンライン参加方法やポイント、ワークの注意点や心得について知る
4	インターンシップについて	1day インターンシップとカリキュラムインターンシップの違いを知る インターンシップの制度を知る
5	求人票の見方について 履歴書の書き方	働くことをイメージして、求人票の見方を知る 履歴書の書き方を知り、実践する。

6	文章構成方法 自己分析について	文章構成方法と自己分析方法を学び、実際に自己分析を行う
7	就職活動における軸の検討 自己分析の実践 エントリーシート対策	自己分析方法を学び、実際に自己分析を行う その上で志望動機を作成する
8	就職活動における軸の検討 自己分析の実践 エントリーシート対策	自己分析方法を学び、実際に自己分析を行う その上で志望動機を作成する
9	就職活動における軸の検討 自己分析の実践 エントリーシート対策	同上
10	就職活動における軸の検討 自己分析の実践 エントリーシート対策	同上
11	就職活動における軸の検討 自己分析の実践 エントリーシート対策	同上
12	面接対策	面接の流れ、面接の種類、ポイントを学ぶ
13	グループディスカッションについて	グループディスカッションの進め方を理解する・実践する
14	面接・グループディスカッションの実施	理解したポイントや実施方法を実践してみる
15	総合授業	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	キャリアデザイン I B		
必修選択	選択	(学則表記)	キャリアデザイン I B		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ウェディングプランナー科	2	30
使用教材	各校就職ガイドBOOK			出版社	なし

科目の基礎情報②

授業のねらい	就職の心構えや企業のエントリー方法を知る。 面接や内定後までの流れを知る。				
到達目標	就職活動の流れを理解する。 魅力的な応募書類の書き方を習得する。 面接方法が実践できる。				
評価基準	授業態度 30 % ・ 提出物 40 % ・ 面接 30 %				
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	キャリアデザイン I B ・ ブライダルビジネスマナー インターンシップ I ・ インターンシップ II ・ インターンシップ III				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	渡村 麻里 他 1 名			実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	就職活動のスケジュール 就職先について 就職活動のルールについて	・ 今後の就職活動の流れを把握する ・ アンケートの実施・就職活動のルールや各種届、証明書発行について把握する
2	身だしなみについて エントリーシートについて	前期復習・身だしなみ再確認 エントリーシートの種類やポイントを知る
3	企業説明会について SPI ・ 一般常識対策	企業説明会の申し込み方法・マナーを再確認する SPI ・ 一般常識の問題を解き、実力をつける
4	選考準備の実践	企業調べの実践 自己PR や志望動機、エントリーシート作成の実践 前期の振り返りを元に面接の実践

5	選考準備の実践	同上
6	選考準備の実践	企業調べの実践 自己 PR や志望動機、エントリーシート作成の実践 前期の振り返りを元に面接の実践
7	選考準備の実践	同上
8	選考準備の実践	同上
9	選考準備の実践	同上
10	面接対策	面接の流れ、面接の種類、ポイントを再確認
11	面接対策	面接の重要性を把握し、入退室の流れから質問の受け答えまでを学ぶ
12	面接対策	面接練習
13	面接対策	同上
14	面接対策	同上
15	総合授業	総まとめ

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	ドレスデザイン A		
必修選択	選択	(学則表記)	ドレスデザイン A		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ウェディングプランナー科	2	30
使用教材	The Business of Wedding Attire & Styling		出版社	全米ブライダルコンサルタント協会 (ABC 協会) 日本オフィス	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	衣装の知識を学び、検定を取得する				
到達目標	後期に受験する、全米ブライダルコンサルタント協会認定 ドレススタイリスト検定取得を目指す				
評価基準	テスト 7 0 % 授業態度 3 0 %				
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者				
関連資格	全米ブライダルコンサルタント協会認定 ドレススタイリスト検定				
関連科目	アテンド実践 A、ドレスデザイン B				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	添田 由紀		実務経験	○	
実務内容	ドレスコーディネーター5 年				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	ドレスの構造とデザイン	歴史に見るウェディングドレスの移り変わりを学ぶ
2	ウェディングドレスの構造ドレスに使用する主な素材	ウェディングドレスの構造、装飾、ドレスに使用する主な素材について学ぶ
3	ドレス各部のデザイン	シルエット別のデザインについて学ぶ ネック別ラインのデザインについて学ぶ
4	ドレス各部のデザイン	ネックライン別・スリーブ別・スカート別・スカートの長さ・カラードレス・二次会用ドレスについて学ぶ

5	ドレスフィッティング実習	前週に学んだ知識を活かしドレスフィッティングを実践する
6	ドレスフィッティング実習	ドレスフィッティングを実践する
7	ウェディングドレスに合わせる小物	ウェディングドレスに合わせる小物について学ぶ ブライダルインナー、ヘッド装飾の種類を学ぶ
8	ウェディングドレスに合わせる小物	アクセサリ、イヤリング、上着、シューズについて学ぶ
9	ドレスのサイズ展開と採寸・補正	日本、欧米のサイズ展開を学ぶ
10	ドレスのサイズ展開と採寸・補正	採寸とドレスのお直し(リフォーム)について学ぶ
11	男性の洋装	男性の洋装について学ぶ
12	男性の洋装	男性洋装小物、男性洋装のサイズ展開と採寸について学ぶ フィッティングも実施する
13	ヘアースタイルによる スタイリング効果 小テスト	ドレスシルエットとヘアスタイルのバランスを学ぶ
14	前期テスト	前期筆記テスト
15	総合学習	これまでの授業の総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ドレスデザイン B		
必修選択	選択	(学則表記)	ドレスデザイン B		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ウェディングプランナー科	2	30
使用教材	The Business of Wedding Attire & Styling		出版社	全米ブライダルコンサルタント協会 (ABC 協会) 日本オフィス	

科目の基礎情報②

授業のねらい	衣装の知識を学び、検定を取得する		
到達目標	全米ブライダルコンサルタント協会認定 ドレススタイリスト検定取得を目指す		
評価基準	テスト 70% 授業態度 30%		
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者		
関連資格	全米ブライダルコンサルタント協会認定 ドレススタイリスト検定		
関連科目	ドレスデザイン A、ブライダルプランナー検定 I（W P 科ハウスウェディングコース）		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	添田 由紀	実務経験	○
実務内容	ドレスコーディネーター 5 年		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	体型によるスタイリング効果	体型別のスタイリング方法を学ぶ
2	体型によるスタイリング効果	体型別のスタイリング方法を学ぶ
3	フィッティング実習	ドレス・タキシードのフィッティングを実践する
4	ブライダルパーティー 衣装店のビジネスと市場	ブライダルパーティーについて知る 衣装店のビジネスと市場・お客様動向について知る
5	和装衣装	新婦和装衣装について学ぶ

6	和装衣装	新婦和装衣装について学ぶ
7	和装衣装 列席者衣裳	新郎和装、列席者の衣装について説明する
8	衣装店のビジネスと市場について	衣装店のビジネスと市場・お客様動向について知る
9	衣装店のビジネスと市場について	衣装店のビジネスと市場・お客様動向、実務内容について知る
10	検定前対策 過去問題より	ドレススタイリスト検定対策問題
11	検定前対策 過去問題より	ドレススタイリスト検定対策問題
12	検定前対策 過去問題より	ドレススタイリスト検定対策問題
13	検定前対策 過去問題より	ドレススタイリスト検定対策問題
14	後期テスト	後期の授業内容の振り返りと知識確認を行う
15	総合学習	これまでの授業の総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ブライダルプランナー検定 I		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルプランナー検定 I		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ウェディングプランナー科	3	45
使用教材	The Business of American Weddings The Business of Japanese Weddings ABC 協会認定ブライダルプランナー検定 2 級過去問題集			出版社	全米ブライダルコンサルタント協会

科目の基礎情報②

授業のねらい	欧米のウェディングと日本のウェディングの基礎知識・用語・業界特性を理解・習得する		
到達目標	・欧米のウェディングと日本のウェディングにおいて、しきたりや慣習・知識等を理解する ・ブライダルプランナー検定2級を取得する		
評価基準	検定結果：60％ 小テスト：30％ 授業態度：10％		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	ブライダルプランナー検定2級		
関連科目	ブライダルプランナー検定Ⅱ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	長谷 和代	実務経験	○
実務内容	ウェディング会場勤務 10 年、結婚相談所経営 10 年		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	American Weddings 第 1 章 アメリカンウェディングとは	・アメリカンウェディング全体を理解する ・第 1 章の過去問を解く
2	American Weddings 第 6 章 アメリカンウェディングとは	・アメリカンウェディング全体を理解する ・第 6 章の過去問題を解く
3	American Weddings 第 2 章 アメリカンウェディング	・ブライダルショー・ブライダルパーティ・婚約ギフト・ペーパーアイテム・フォト・ビデオ・服装について - 理解する・第 2 章の過去問題を解く
4	American Weddings 第 3 章・4 章 アメリカンウェディング	・それぞれのギフトや演出・挙式、レセプション会場等について理解する ・リハーサルウェディングや伝統的な言い伝えを理解する・第 3 章の過去問題を解く
5	American Weddings 第 4 章 アメリカンウェディング	・リハーサルウェディングや伝統的な言い伝えを理解する ・各宗派の挙式をそれぞれしっかりと理解する・第 4 章の過去問題を解く

6	American Weddings 第 5 章 アメリカンウェディング	・レセプションについて学ぶ ・アメリカンウェディングの総まとめ・第 5 章の過去問題を解く
7	Japanese Weddings 第 1 章 日本のブライダル市場	・特に 1990 年代の動向について知る ・第 1 章の過去問題を解く
8	Japanese Weddings 第 2 章 ウェディングの決定	・結納・結婚式について知る ・第 2 章の過去問題を解く
9	Japanese Weddings 第 3 章 婚礼施設の主業務	・第 3 章の過去問題を解く
10	Japanese Weddings 第 4～5 章 関連商品・サービス 衣装・主要各業務	・第 4 章、第 5 章の過去問題を解く
11	検定対策（総まとめ）①	・過去問題や対策プリント・疑似問題等で、検定対策を行う
12	検定対策（総まとめ）②	・過去問題や対策プリント・疑似問題等で、検定対策を行う
13	検定問題解答・解説	・検定試験の解答を行い、自己採点を行う
14	記述対策	・過去問題や対策プリントなどを作成し、対策を行う
15	総合学習	・総まとめを行う

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	レストランサービス対策Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	レストランサービス対策Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ウェディングプランナー科	2	30
使用教材	西洋料理料飲接客サービス技法		出版社	一般財団法人 職業訓練教材研究会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	国家検定試験受験に向けて、レストランにおける料飲ならびにサービスマナーに関する基本的な知識を習得する				
到達目標	国家検定 レストランサービス技能士 3 級 学科試験合格				
評価基準	授業態度 30% 各章のまとめ 20%×2 回 テスト 30%				
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者				
関連資格	国家検定 レストランサービス技能士 3 級				
関連科目	レストランサービス検定対策Ⅰ レストランサービス演習Ⅰ・ⅡA・ⅡB サービス実践 A・B プライダル知識Ⅰ・Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	大川 綺萌		実務経験	○	
実務内容	結婚式場でのサービススタッフ 8 年（レストランサービス、結婚式当日のディレクション、アルバイトの研修・マネジメント）				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション 食材・飲料等の基礎知識①	授業の流れ、到達目標について 食品の分類別特徴、食品の管理、西洋料理に使用される主な食材について
2	食材・飲料等の基礎知識②	西洋料理に使用される主な食材について
3	食材・飲料等の基礎知識③	一般的な西洋料理調理法等について
4	食材・飲料等の基礎知識④	アルコール飲料について（ワインの知識を中心に）

5	食材・飲料等の基礎知識⑤	その他の飲料について、メニュー構成について
6	食材・飲料等の基礎知識⑥	食器類について 料飲サービススタッフの役割と求められる資質について
7	第 1 章まとめ	演習問題を実施する（小テスト）
8	宴会とレストランサービス①	料理と飲み物のサービスについて
9	宴会とレストランサービス②	レストランにおける接遇について
10	宴会とレストランサービス③	テーブルサービス・ワゴンサービスについて
11	宴会とレストランサービス④	予約と解約について 一般的な救護方法ならびに食事のサービスマナーについて
12	宴会とレストランサービス⑤	プロトコール、配席のルール、国旗掲揚について
13	第 3 章まとめ	演習問題を実施する（小テスト）
14	食文化	食の禁忌・食文化とテーブルマナーについて
15	総まとめ	総まとめの演習問題を実施する

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	レストランサービス演習Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	レストランサービス演習Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ウェディングプランナー科	1	30
使用教材	基礎からわかるレストランサービススタンダード マニュアル		出版社	一般財団法人 職業訓練教材研究会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	国家検定実技試験受験に向けて、レストランにおける料飲ならびにサービスマナーに関する基本的な動作を習得する				
到達目標	婚礼やレストランにおけるサービスの知識と技術を学び、お客様に合わせたサービスができるようになる。 国家検定レストランサービス技能士 3 級 実技試験を受験できるレベルのホテルサービスの基本知識と技術をもった人材になる				
評価基準	実技テスト 60％・評価シート 20％ 授業態度 20％				
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者				
関連資格	国家検定 レストランサービス技能士 3 級				
関連科目	レストランサービス検定対策 1・Ⅱ / レストランサービス演習ⅡA・ⅡB サービス実践 A				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	大川 綺萌		実務経験	○	
実務内容	結婚式場でのサービススタッフ 8 年（レストランサービス、結婚式当日のディレクション、アルバイトの研修・マネジメント）				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション 基本動作	・授業の流れ・到達目標について ・立ち居振る舞いの実践をする
2	サービス実践 A 復習	・接客時の言葉遣いや電話対応の復習と確認・料飲サービス・ご案内 ・ワイン抜栓方法等の復習と確認・ワインリストの読み方や特徴を確認する
3	サービス実践 A 復習	・接客時の言葉遣いや電話対応の復習と確認 ・料飲サービス・ご案内・ワイン抜栓方法等の復習と確認・ワインリストの読み方や特徴を確認する
4	形式に合わせたセッティング①	朝食・昼食のセッティング及び、接客言葉を修得する

5	形式に合わせたセッティング②	同上
6	検定実技シミュレーション 朝食 ①	朝食サービスを行う
7	検定実技シミュレーション 朝食 ②	朝食サービスを行う
8	検定実技シミュレーション 朝食 ③	朝食サービスを行う
9	検定実技シミュレーション 昼食 ①	昼食サービスを行う
10	検定実技シミュレーション 昼食 ②	昼食サービスを行う
11	検定実技シミュレーション 昼食 ③	昼食サービスを行う
12	実技のまとめ①	実技のまとめを行う
13	実技のまとめ②	実技のまとめを行う
14	検定実技シミュレーション	朝食・昼食サービスを行う
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	ベーシックメイク A		
必修選択	選択	(学則表記)	ベーシックメイク A		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ウェディングプランナー科	2	45
使用教材	電子版 BASIC ポイントメイクアップリムーバー・クレンジング・ ローションⅠ・ローションⅡ・エマルジョン・エッセンス・下地・コ ントロールカラー			出版社	三幸学園
科目の基礎情報②					
授業のねらい	メイクの基礎知識を学び、基礎的なメイクアップ技術を身につける				
到達目標	メイク道具や化粧品についてしっかり把握した状態で実習を行うことができる 基本的なメイクを時間内に仕上げるができる				
評価基準	筆記テスト 30%、実技テスト 30%、小テスト（実技・筆記・課題提出含む）20%、授業態度 20%				
認定条件	出席が総時間数の 3 分の 2 以上あるもの成績評価が 2 以上のもの				
関連資格	日本トータルメイクアップ協会 ベーシックメイク検定				
関連科目	無				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	山下 智子 他 1 名			実務経験	○
実務内容	メイク教室、文化教室、企業メイクレッスン、舞台・イベントヘアメイク				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション	オリエンテーション教材のチェック 基本セッティング&実践について学ぶ
2	『骨格と表情筋』 クレンジングについて学ぶ	『骨格と表情筋』顔の名称を覚える 手指消毒～リクレンジングまでの理論と方法を学ぶ
3	スキンケアについて学ぶ	前回の復習 スキンケアの種類、方法などを学ぶ実際に相モデルで行う
4	スキンケア実技・筆記小テスト① ファンデーション導入	スキンケアの基礎知識とともにこれまでの復習を兼ねた小テストの実施 ファンデーションについて説明、デモンストレーション、実践

5	アイメイクについて学ぶ①	今まで学んだ箇の復習ファンデーションについて復習 アイメイクについて学ぶ（アイシャドウ縦グラデーション実践、アイライン、ビューラー、マスカラのテクニック）
6	アイメイクについて学ぶ②	前回の復習 アイメイクについて学ぶ（アイシャドウ横グラデーション実践、アイライン、ビューラー、マスカラのテクニック）
7	アイブロウについて学ぶ①	前回の復習 基本の眉のプロポーションについて学ぶ&セルフ実技実践使用道具など
8	アイブロウについて学ぶ②	前回の復習 アイブロウ相モデルで実践。左右対称に行い。形の違いを理解する
9	チーク・リップ ハイ&ローライトについて学ぶ	前回の復習 骨格を意識したメイクを学ぶ（3 パターン行う）
10	フルメイクの練習①	【テストに向けて】タイムトライアル（45 分） ・時間内にメイクができるようになる・技術を向上させる（左右対称、自然な仕上がりなど）反復練習を行い技術力を上げる
11	フルメイクの練習②	【テストに向けて】タイムトライアル（45 分） ・時間内にメイクができるようになる・技術を向上させる（左右対称、自然な仕上がりなど）反復練習を行い技術力を上げる
12	フルメイクの練習③ 筆記小テスト②	【テストに向けて】タイムトライアル（45 分） ・時間内にメイクができるようになる・技術を向上させる（左右対称、自然な仕上がりなど）反復練習を行い技術力を上げる
13	フルメイクの練習④	【テストに向けて】タイムトライアル（45 分） ・時間内にメイクができるようになる・技術を向上させる（左右対称、自然な仕上がりなど）反復練習を行い技術力を上げる
14	実技テスト・筆記テスト メイク検定ベーシックについて	タイムトライアルでフルメイクの実技テスト前期に学んだ範囲すべての筆記テスト メイク検定の説明
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ベーシックメイク B		
必修選択	選択	(学則表記)	ベーシックメイク B		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ウェディングプランナー科	2	45
使用教材	電子版 BASIC ポイントメイクアップリムーバー・クレンジング・ ローションⅠ・ローションⅡ・エマルジョン・エッセンス・下地・コ ントロールカ			出版社	三幸学園

科目の基礎情報②

授業のねらい	メイクの基礎知識を学び、基礎的なメイクアップ技術を身につける		
到達目標	メイク道具や化粧品についてしっかり把握した状態で実習を行うことができる 基本的なメイクを時間内に仕上げるができる		
評価基準	筆記テスト 30%、実技テスト 30%、小テスト（実技・筆記・課題提出含む）20%、授業態度 20%		
認定条件	出席が総時間数の 3 分の 2 以上あるもの成績評価が 2 以上のもの		
関連資格	日本トータルメイクアップ協会 ベーシックメイク検定		
関連科目	無		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	山下 智子 他 1 名	実務経験	○
実務内容	メイク教室、文化教室、企業メイクレッスン、舞台・イベントヘアメイク		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	メイク検定ベーシックについて ソフト理論を学ぶ	オリエンテーション 検定について、プロポーシオンについてレクチャー・相モデルでポイントメイク
2	ソフトの練習	相モデルでフルメイク練習（タイムトライアル制限時間内にメイクをする）
3	シャープ理論を学ぶ ・小テスト	レクチャー・相モデルでポイントメイク筆記に向けて小テスト
4	シャープの練習	相モデルでフルメイク練習（タイムトライアル制限時間内にメイクをする）

5	ソフト OR シャープの練習①	検定に向けて実践練習 タイムトライアル制限時間内にメイクをする
6	ソフト OR シャープの練習②	検定に向けて実践練習 タイムトライアル制限時間内にメイクをする
7	実技・テスト(実技筆記対策)	検定と同様に実技テスト (スキンケア～フルメイク、筆記試験) 苦手克服(苦手な部分を集中して練習)
8	成人式メイク	つけまつげの付け方と水化粧について学び実践
9	応用編メイクを学ぶ	本物式での使用することの多いボディメイクと水化粧・質感メイクを学ぶ
10	メイクの種類を学ぶ① カラーボリュームについて	プロポーション、パーツと印象の関係、プロポーションパーツ
11	メイクの種類を学ぶ② カラーボリュームについて	色とトーン、質感、カラーボリュームバランスイメージを理解する (SWEET/ROMANTIC)
12	メイクの種類を学ぶ③ シーン別メイク	イメージに合わせたメイクを理解する (FEMININE/LUXURY) シーンに合わせたメイク…和装などにあうメイク
13	メイクの種類を学ぶ④ シーン別メイク	イメージに合わせたメイクを理解する (POP/NATURAL) シーンに合わせたメイク…美しいベースメイク
14	メイクの種類を学ぶ⑤ ケース別メイク	イメージに合わせたメイクを理解する (COOL/CASUAL) シーンに合わせたメイク…カラードレスに合わせるメイク
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ビジネススキル A		
必修選択	選択	(学則表記)	ビジネススキル A		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ウェディングプランナー科	1	15
使用教材	ビジネス用語図鑑		出版社	WAVE 出版	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ブライダル業界だけではなく「ビジネスマン」としてのスキル・知識を身に付けることで 就職活動の際に、大学生に求められるような幹部候補生として活躍できる人材を目指す		
到達目標	・営業系を中心に、人事総務・経営・IT&AI・製造・コンサルなどの「ビジネス用語」を学ぶことを通して 企業の中での様々な部門の視点を身に付ける ・ビジネス用語をきっかけとして、ビジネスの面白さを知る ・時事ニュースを通じて世の中の動きを理解する		
評価基準	課題提出 60%、課題内容（理解度・積極性）40%		
認定条件	出席が総時間の 3 分の 2 以上ある者、成績評価が 2 以上の者		
関連資格	無		
関連科目	無		
備考	原則、この科目はオンデマンド型遠隔授業形式にて実施する。		
担当教員	吉江 妙子	実務経験	○
実務内容	団体及び個人、美容関係者に対してのセミナー講師		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション・導入	・先生の自己紹介、授業のルール、成績の付け方・ビジネスとは何か（ビジネス用語を学ぶ意味） ・各回で取り上げる時事ニュースの発表方法について
2	ビジネス用語を学ぶ意味	・時事ニュース・会社の中の部署と役割について ・ビジネス用語を学ぶ意味
3	人事総務について① ～働き方改革～	～働き方改革～・教科書 P12【働き方改革】P16【スーパーフレックス】P21【ワークライフバランス】 ・時事ニュース
4	人事総務について② ～多様な働き方～	～多様な働き方～・教科書 P20【ダイバーシティ】P38【副業・兼業】 P17【非正規社員】P14【同一労働同一賃金】・時事ニュース
5	人事総務について③ ～企業と社員の関係～	～企業と社員の関係～・教科書 P23【従業員体験】P24【ES 調査】 P25【健康経営】P40【カフェテリアプラン】・時事ニュース

6	人事総務について④ ～場所や時間にとらわれない働き方～	～場所や時間にとらわれない働き方～・教科書 P31 【テレワーク】 P32 【サテライトオフィス】 P34 【グループウェア】 P36 【コワーキングスペース】 P37 【フリーアドレス】・時事ニュース
7	人事総務について⑤ ～人材育成～	～人材育成～・教科書 P39 【エルダー制度】 P41 【インターンシップ】 P44 【ロールモデル】 P45 【PDS サイクル】・時事ニュース
8	小テスト	・人事総務系ビジネス用語の確認小テスト ・小テスト振り返り
9	営業について① ～営業活動とは・消費行動のメカニズム～	～営業活動とは～・教科書 P132 【ブランディング】 P133 【プロモーション】 ～消費行動のメカニズム～・教科書 P135 【AISAS】 P136 【AMTUL】・時事ニュース
10	営業について② ～様々な営業のかたち～	～様々な営業のかたち～・教科書 P137 【BtoB・BtoC】 P138 【フラッグシップ】 P139 【コンセプトショップ】 P140 【インバウンド】・時事ニュース
11	営業について③ ～営業トークスキル～	～営業トークスキル～・教科書 P143 【アイスブレイク】 P144 【ラポール】 P145 【ハンガートーク】 P148 【クローズドクエスション】 P156 【アクティブリスニング】
12	営業について④ ～営業スタッフとしての姿勢・手法～	～営業スタッフとしての姿勢・手法～・教科書 P141 【ホスピタリティ】 P149 【インセンティブ】 P150 【コミッション】 P152 【フットインザドア】・時事ニュース
13	営業について⑤ ～その他営業で使われる用語～	～その他営業で使われる用語～・教科書 P154 【コスパ】 P155 【CS】 P158 【チャンネル】 ・時事ニュース
14	営業について⑥ ～その他営業で使われる用語～	～その他営業で使われる用語～・教科書 P160 【ワンストップサービス】 P161 【E コマース】 P162 【ロングテール】・教科書 P164～165 【おじさん世代のビジネス用語】・時事ニュース
15	前期テスト	・前期テスト ・振り返り

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	ビジネススキル B		
必修選択	選択	(学則表記)	ビジネススキル B		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ウェディングプランナー科	1	15
使用教材	ビジネス用語図鑑		出版社	WAVE 出版	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	ブライダル業界だけではなく「ビジネスマン」としてのスキル・知識を身に付けることで 就職活動の際に、大学生に求められるような幹部候補生として活躍できる人材を目指す				
到達目標	・ 営業系を中心に、人事総務・経営・IT&AI・製造・コンサルなどの「ビジネス用語」を学ぶことを通して 企業の中での様々な部門の視点を身に付ける ・ ビジネス用語をきっかけとして、ビジネスの面白さを知る ・ 時事ニュースを通じて世の中の動きを理解する				
評価基準	課題提出 60%、課題内容（理解度・積極性）40%				
認定条件	出席が総時間の 3 分の 2 以上ある者、成績評価が 2 以上の者				
関連資格	無				
関連科目	無				
備考	原則、この科目はオンデマンド型遠隔授業形式にて実施する。				
担当教員	吉江 妙子		実務経験	○	
実務内容	団体及び個人、美容関係者に対してのセミナー講師				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	IT & AI について① ～AI の技術～	～AI の技術～・教科書 P95 【AI】 P96 【AGI】 P97 【シンギュラリティ】 P98 【ディープラーニング】 ・時事ニュース
2	IT & AI について② ～現代の IT 活用方法～	～現代の IT 活用方法～・教科書 P94 【クラウド】 P99 【ビッグデータ】 P100 【データマイニング】 ・時事ニュース
3	IT & AI について③ ～IT・WEB を活用したビジネス～	～IT・WEB を活用したビジネス～・教科書 P103 【インフルエンサー】 P105 【プロガー】 P106 【ユーチューバー】 P107 【アフィリエイト】 P111 【バズマーケティング】・時事ニュース
4	IT & AI について④ ～新たな IT 技術～	～新たな IT 技術～・教科書 P108 【VR】 P112 【5G】 P113 【仮想通過】 P117 【デジタルトランスフォーメーション】・時事ニュース

5	IT & AI について⑤ ～その他 IT 関連で使われる用語～	～その他 IT 関連で使われる用語～ ・教科書 P101【セキュリティ】P116【インプレッション】P126【コンバージョン】・時事ニュース
6	小テスト	・IT 系ビジネス用語の確認小テスト ・小テスト振り返り
7	経営について① ～企業が果たすべき責任～	～企業が果たすべき責任～・教科書 P50【コーポレートガバナンス】P51【コンプライアンス】P52【メディアリテラシー】P59【サステナビリティ】・時事ニュース
8	経営について② ～経営活動～	～経営活動～・教科書 P54【アジェンダ】P56【プレイクスルー】P86【クレド】P87【SWOT 分析】 ・時事ニュース
9	経営について③ ～企業と利害関係がある人・団体～	～企業との利害関係がある人・団体～・教科書 P65【ステークホルダー】P67【コンペティター】P70【イノベーター】P71【アーリーアダプター】P72【ラガード】・時事ニュース
10	コンサルティングについて① ～分析のための情報と手法～	～分析のための情報と手法～・教科書 P200【エビデンス】P201【クリティカル】P202【アジャイル】 ・時事ニュース
11	コンサルティングについて② ～時代のニーズにあわせた思想の変化・ニーズの引き出し～	～時代のニーズにあわせた思想の変化・ニーズの引き出し～・教科書 P208【パラダイムシフト】P209【コンテンポラリー】P213【エンパワーメント】P214【インサイト】・時事ニュース
12	コンサルティングについて③ ～問題分析とその考え方～	～問題分析とその考え方～・教科書 P216【ソリューション】P218【ファシリテーター】P221【インスパイア】P228【ロジックツリー】・時事ニュース
13	後期テスト（総まとめ）	・後期（総まとめ）テストを行う
14	テスト・振り返り	・テストの振り返りと、必要な部分の補足学習を行う
15	総合授業	・総合学習を行う

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	リーダーシップ論		
必修選択	選択	(学則表記)	リーダーシップ論		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ウェディングプランナー科	1	30
使用教材	図解 面白いほど役に立つ 人を動かすリーダー力		出版社	日本文芸社	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	チームで成果を出すための理論・人をまとめる力・人を活かす方法論				
到達目標	様々なタイプの人を動かす力を学び自分にあった自己のモチベーション・リーダーとしてメンバーのモチベーションを上げるスキルを身につける				
評価基準	テスト・課題提出				
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績が 2 以上の者				
関連資格	無				
関連科目	無				
備考	原則、この科目はオンデマンド型遠隔授業形式にて実施する。				
担当教員	伊藤 峻二		実務経験	○	
実務内容	ウェディングプランナー6 年間				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	自己紹介・オリエンテーション	自己紹介・授業の概要・評価方法・リーダーシップとは
2	「偉人伝シリーズ ①あきらめないために」	偉人のリーダーシップについて学ぶ。(カーネル・カーネルサンダース)
3	「偉人伝シリーズ ②あきらめないために」	偉人のリーダーシップについて学ぶ。(松下 幸之助)
4	目指すリーダー力 リーダーには何が必要か	リーダーになるために必要な 5 つのポイント リーダーシップを発揮するために必要な 5 つの条件
5	自己分析の重要性	就職活動において自己分析がなぜ重要か
6	理想のリーダー像 リーダーとしての共通点	・理想のリーダー像を知る・知った上で必要な要素を知る・調べて、ディスカッションした内容から色々なリーダーがいることを理解する・人をまとめる力についての種類を理解する

7	理想のリーダーに近づくには	理想のリーダーに近づくにはを考え、真似を繰り返すことで近づけることを知る
8	後輩・部下と上手くコミュニケーションをとろう	8 聞き 2 喋りで聞き役に回ろう 信頼関係を築くには「ラポール」が大事
9	評価・叱り方 褒める技術	・公平な評価をすることが大事「ファクト評価」をすることが大事・チームメンバーを叱るときは、「ヒト」として叱らない・自分の日常の行動や他社の行動を思い返し、褒める技術・習慣化させる
10	リーダーとしてほしいメンバーを考える	どんなメンバーが存在するのかを知り、良いチームにするためにリーダーとしてほしいメンバーを考える
11	モチベーションの上げ方	自分や周りのモチベーションを上げる方法を学ぶ
12	メンバーのやる気の引き出し方	人に協力してほしいとき、周りの人間に対して日常的にどのように接することが大事か あなたにとってのメンターを考えよう
13	課題提出の PPT 作成について	PPT の操作を学ぶ
14	プレゼン力をつけるためには	口達者でいる必要はない。 4 つのルールを使って表現力を高めよう
15	総合授業	前期の振り返り

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	心理学		
必修選択	選択	(学則表記)	心理学		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	2	30
使用教材	①実践モチベーションマネジメント【BASIC】 ②今日から使える行動心理学			出版社	①モチベーション・マネジメント協会 ②ナツメ社

科目の基礎情報②

授業のねらい	ブライダル業界のスタッフとして、いち社会人として 「お客様心理」「同僚上司の心理」「セルフモチベーションスキル＝自己のモチベーションをコントロールする力」についての知識を学ぶ。		
到達目標	① お客様心理 同僚上司の心理を”行動心理学”に基づいた本心を知っている状態 ② 自己のモチベーションをコントロールする方法を実施してみる事が出来る		
評価基準	テスト：30％ 小テスト：40％ 課題提出：30％		
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者		
関連資格	無		
関連科目	無		
備考	原則、この科目はオンデマンド型遠隔授業形式にて実施する。		
担当教員	吉江 妙子	実務経験	○
実務内容	団体及び個人、美容関係者に対してのセミナー講師		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	行動心理学とは？ 心理学の授業とは？	授業の流れ、到達目標について 行動心理学について
2	行動に表れている心理	「お客様心理」 会話の中に折り込まれる人間性
3	消費者行動の心理①	「お客様心理」 日常生活に隠れる 購買意欲をかき立てられる実例
4	消費者行動の心理②	「お客様心理」 消費者行動心理とマーケティングを活かした売る仕掛け①

5	消費者行動の心理③ マーケティング目線での仕掛け	「お客様心理」 消費者行動心理とマーケティングを活かした売る仕掛け② 行動からわかる性格と心理①
6	行動心理学 服装から見る心理	「お客様心理」 服装からわかる性格と心理
7	同僚上司に対してのモチベーション	「同僚上司心理」 デキる人間から学ぶ行動 上司の心を掴むコミュニケーション
8	同僚上司に対してのモチベーション	「同僚上司心理」 デキる人間から学ぶ行動 何を考えているかわからない部下
9	同僚上司に対してのモチベーション	「同僚上司心理」 デキる人間から学ぶ行動 うまく付き合いたい同僚
10	同僚上司に対してのモチベーション セルフモチベーション スランプの乗り越え方	「セルフモチベーションスキル=自己のモチベーションをコントロールする力」 なかなか抜け出せないスランプ
11	セルフモチベーション 対 自分	「セルフモチベーションスキル=自己のモチベーションをコントロールする力」 自分に対しての乗り越え方
12	セルフモチベーション 対 会社	「セルフモチベーションスキル=自己のモチベーションをコントロールする力」 会社に対しての乗り越え方
13	セルフモチベーション 対 会社	「セルフモチベーションスキル=自己のモチベーションをコントロールする力」 会社に対しての乗り越え方
14	セルフモチベーション 対 上司	「セルフモチベーションスキル=自己のモチベーションをコントロールする力」 上司に対しての乗り越え方
15	総合学習・テスト	総復習・総まとめテスト

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	実習	科目名	インターンシップⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	インターンシップⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ウェディングプランナー科	2	60
使用教材	なし		出版社		
科目の基礎情報②					
授業のねらい	ブライダルスタッフとして必要な社会人基礎力を身に付ける				
到達目標	社会人として必要な基礎スキルが身に付いている 相手の立場に立った物の考え方ができる 社会へ出てから必要な言葉遣いや接客マナーを実践できる				
評価基準	企業側評価 75 点（評価表にて採点）、学校評価 25 点（レポート）				
認定条件	出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 成績評価が 2 以上の者				
関連資格	なし				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	渡村麻里 他 1 名		実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります